

Internet Explorer 8.0 設定手順書

<本書の目的>

2014年4月より、三重県公共事業電子調達システムは新システムへ移行しました。

システムの移行に伴い、電子入札に利用するパソコンの設定変更作業が必要になります。

本書は、初めて設定する端末向けの設定手順書となります。

<設定する箇所>

[【P6】 2-2.<セキュリティ>タブの設定\(信頼済みサイトの登録\)](#)

[【P11】 2-4.<プライバシー>タブの設定\(ポップアップブロックの設定\)](#)

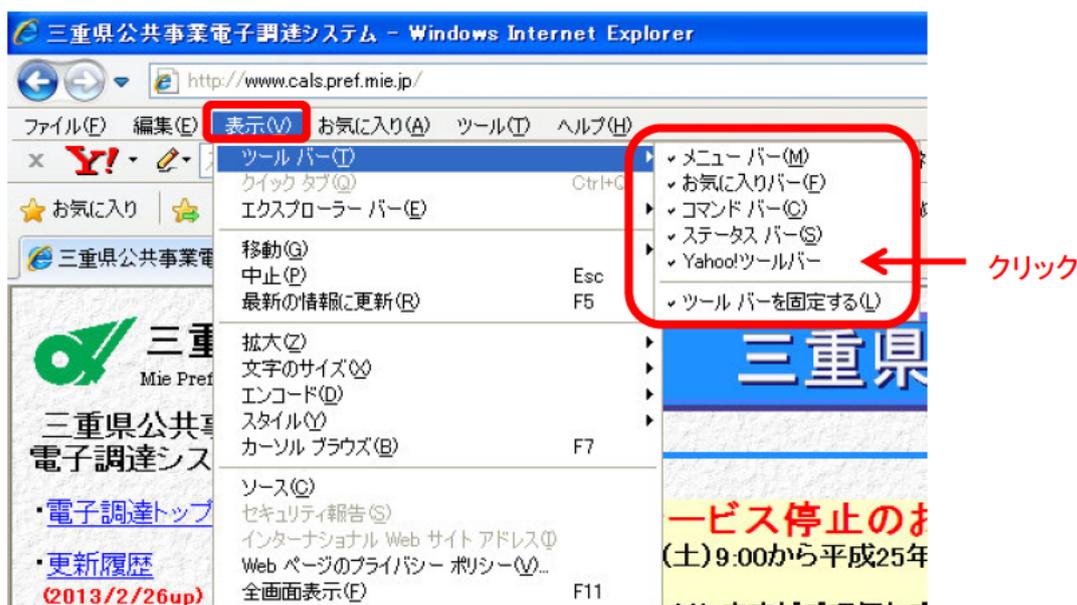
[【P13】 3. 互換表示の設定](#)

1. ツールバー非表示

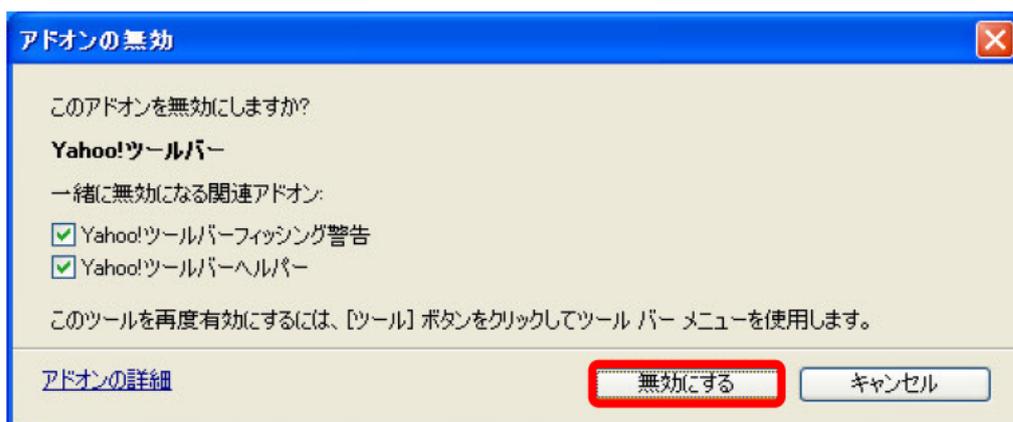
① Internet Explorerを起動し、【表示】-【ツールバー】を選択するとインストールされているツールバーが表示されます。「メニューバー」「お気に入りバー」「コマンドバー」「ステータスバー」「ツールバーを固定する」以外のチェックが外れていることを確認します。

※「メニューバー」が表示されていない場合はキーボードの「ALT」キーを押下します。

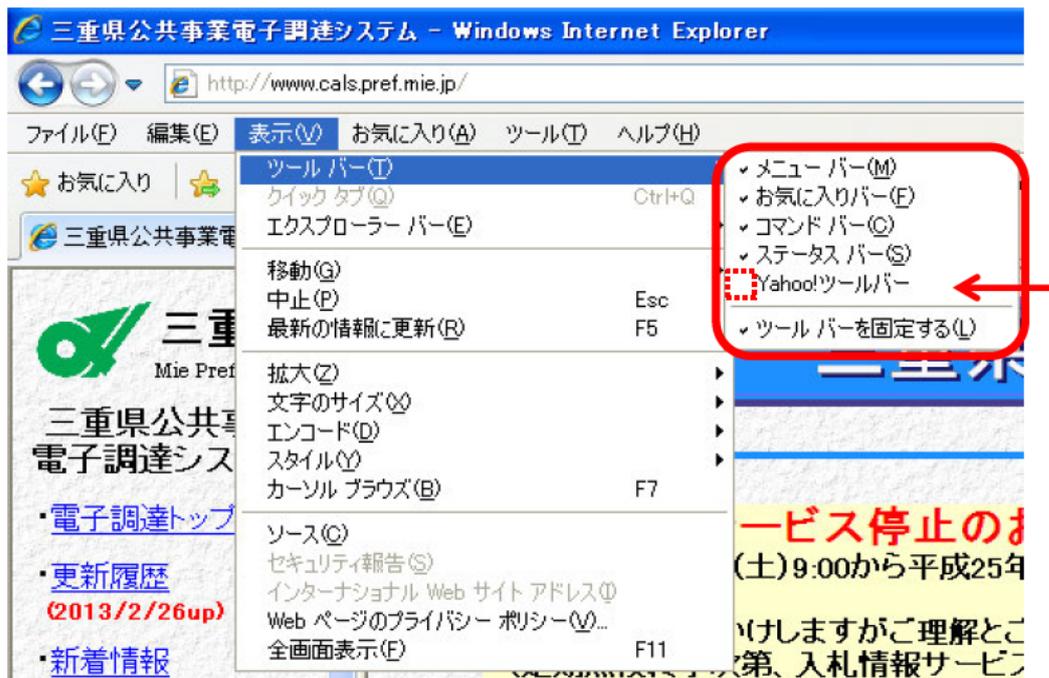
下の画像では「Yahoo!ツールバー」がインストールされています。「Yahoo!ツールバー」の文字上で左クリックしチェックを外します。



クリックすると下記画面が現れますので、【無効にする】を左クリックします。



再度、【表示】-【ツールバー】を選択するとチェックが外れているのが確認できません。



《主なツールバー》

- Googleツールバー
- Yahoo!ツールバー
- 楽天ツールバー
- MSNツールバー
- Adobe PDF
- Windows LiveTool Bar
- BIGLOBEツールバー
- gooスティック
- JWord
- EPSON Web-To-Page
- Canon Easy-WebPrint 等

《セキュリティソフト関連のツールバー》

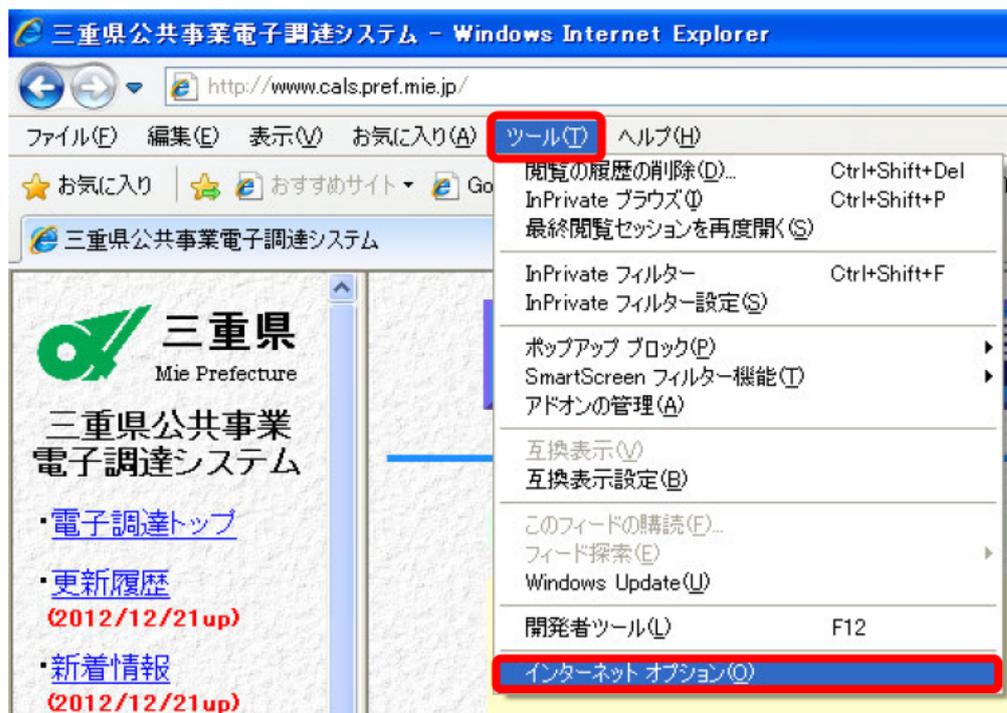
- Norton Anivirus
- Norton internet Security
- Trendツールバー
- McAfee SiteAdvisor
(McAfee security center)
- McAfee VirusScan 等

2. インターネットオプションの設定

以下に説明するいずれかの方法により「インターネットオプション」を開きます。なお、②または③の方法で開いた場合、ウィンドウ名が「インターネットのプロパティ」となりますが、「インターネットオプション」と同じものです。

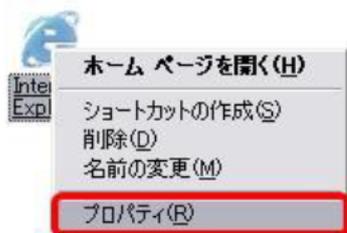
<インターネットオプションの開き方①>

Internet Explorerを起動し、【ツール】-【インターネットオプション】を選択し左クリックします。



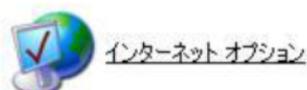
<インターネットオプションの開き方②>

デスクトップのInternet Explorerを右クリックし【プロパティ】を選択し左クリックします。



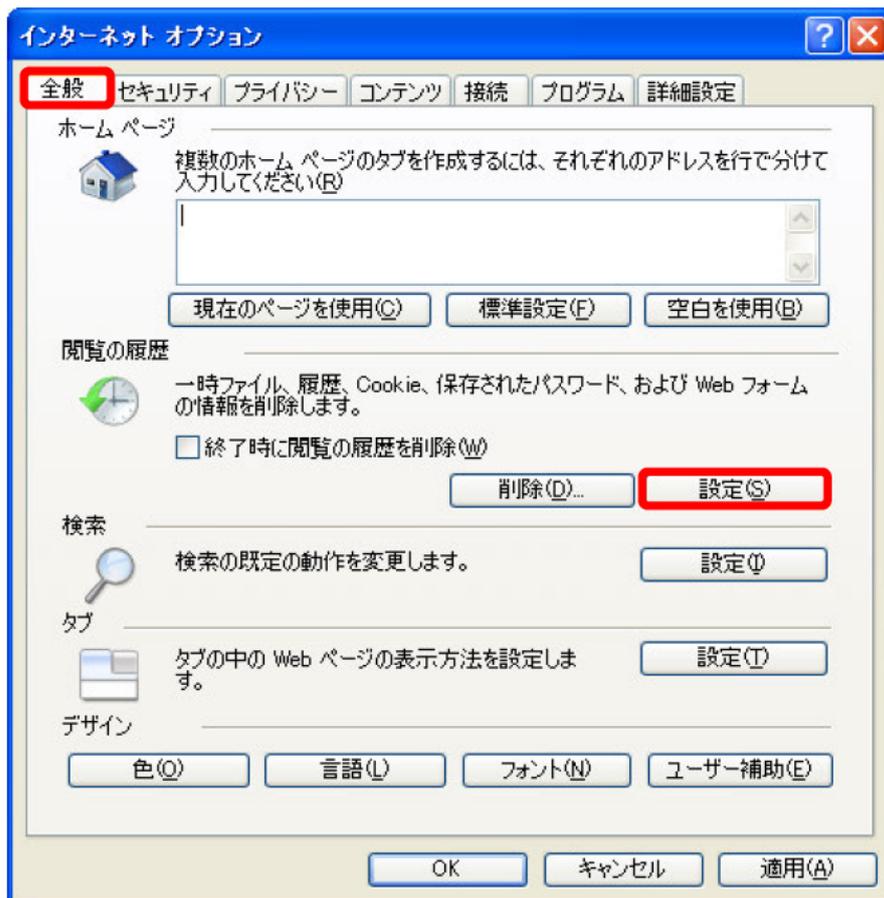
<インターネットオプションの開き方③>

コントロールパネルの【インターネットオプション】をダブルクリック(マウス左ボタン)するか、右クリックし【開く】を選択し左クリックします。

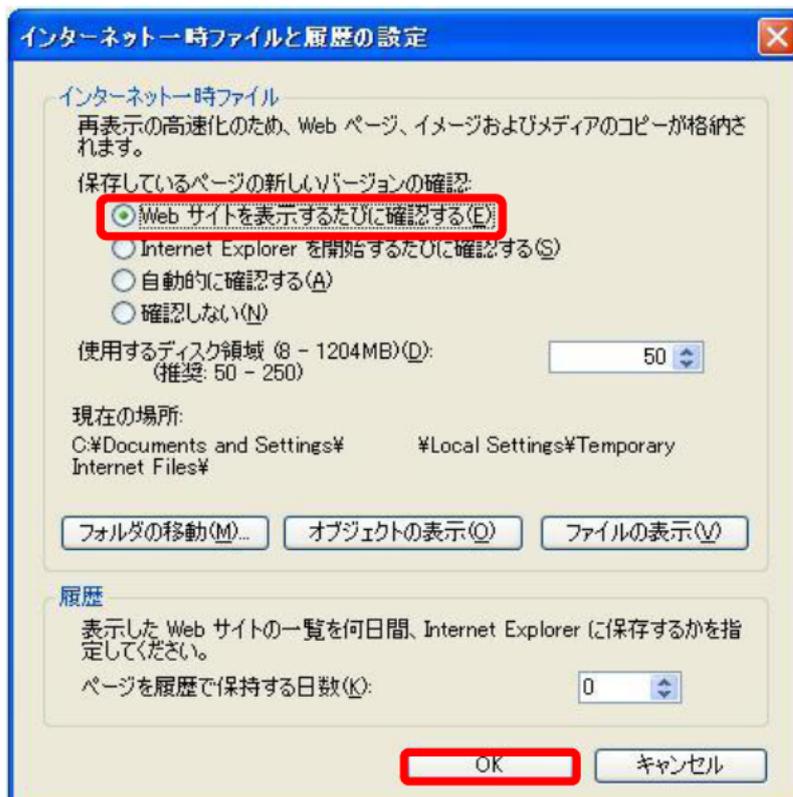


2-1.<全般>タブの設定(インターネット一時ファイルの設定) ※確認

①「閲覧の履歴」内の【設定】ボタンを左クリックします。

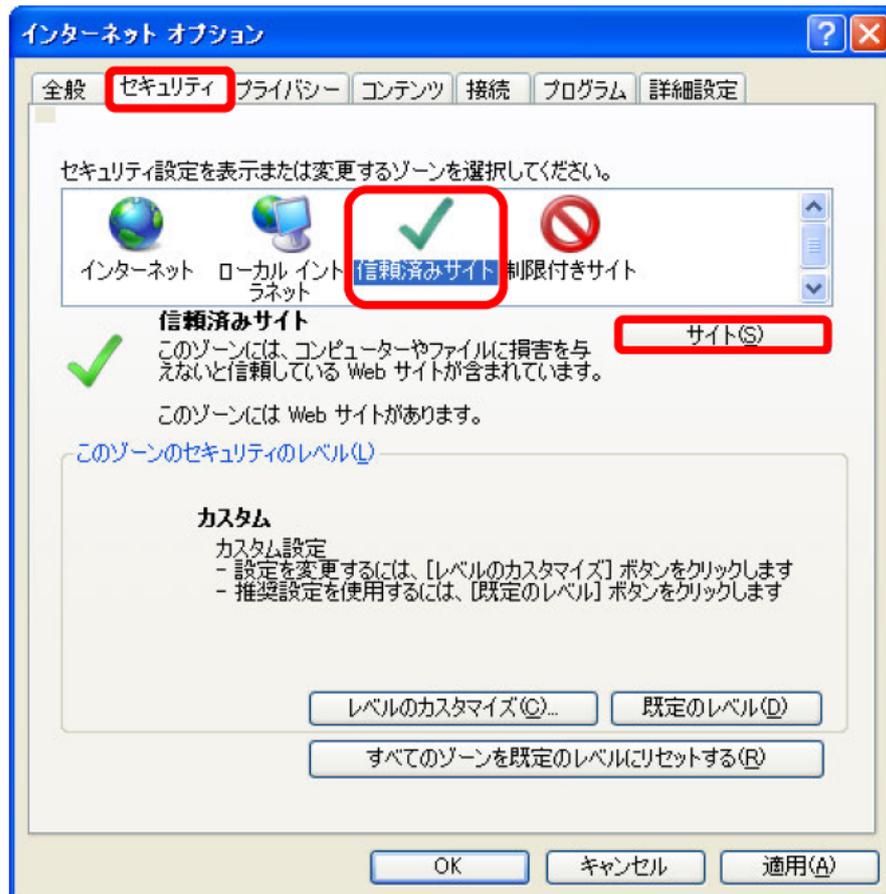


②【Webサイトを表示するたびに確認する】をチェックし【OK】ボタンを左クリックします。

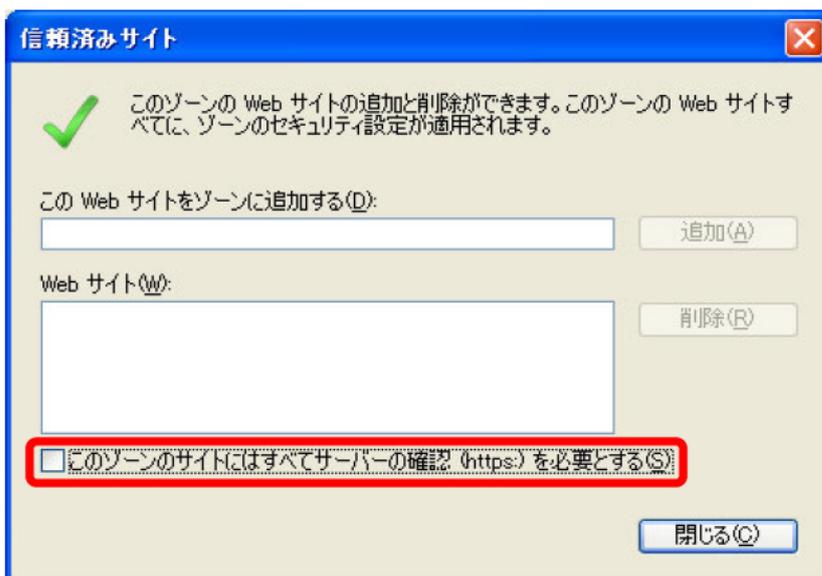


2-2.<セキュリティ>タブの設定(信頼済みサイトの登録)

①【信頼済みサイト】を選択し【サイト】ボタンを左クリックします。



②【このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする】のチェックを外します。



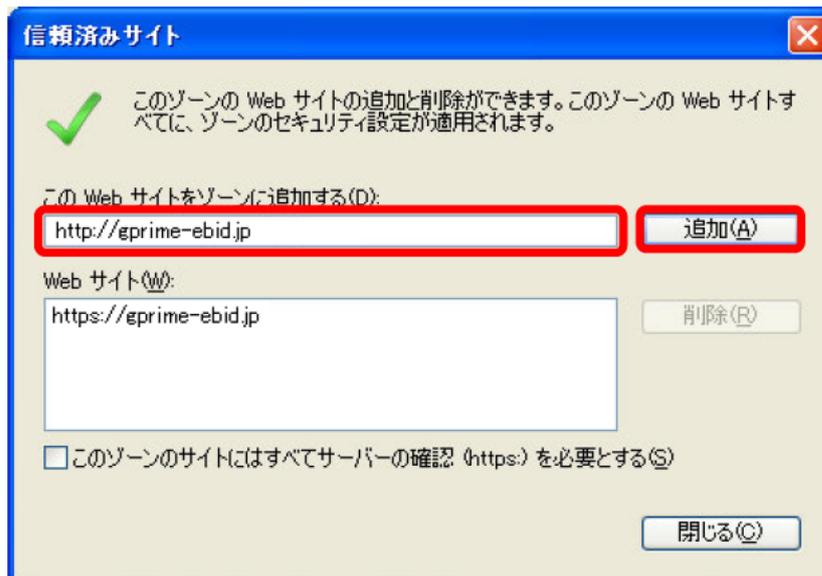
③【このWebサイトをゾーンに追加する】に下記のアドレスを入力し【追加】ボタンを左クリックします。Webサイトの追加は1つずつ行います。
手入力だと間違いやすいので、下記アドレスをコピーして、該当場所に貼り付けて下さい。

<信頼済みサイト>

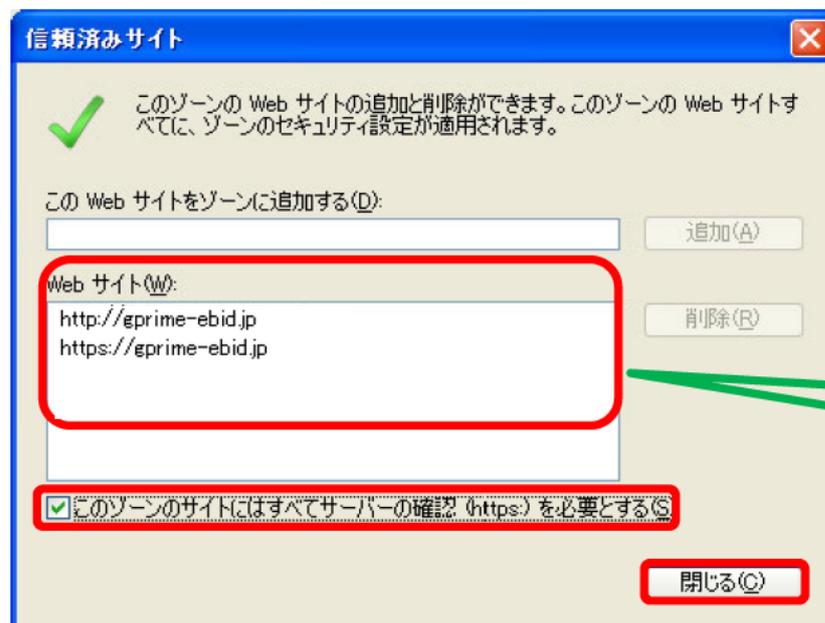
http://gprime-ebid.jp
https://gprime-ebid.jp



設定追加する必要があります。



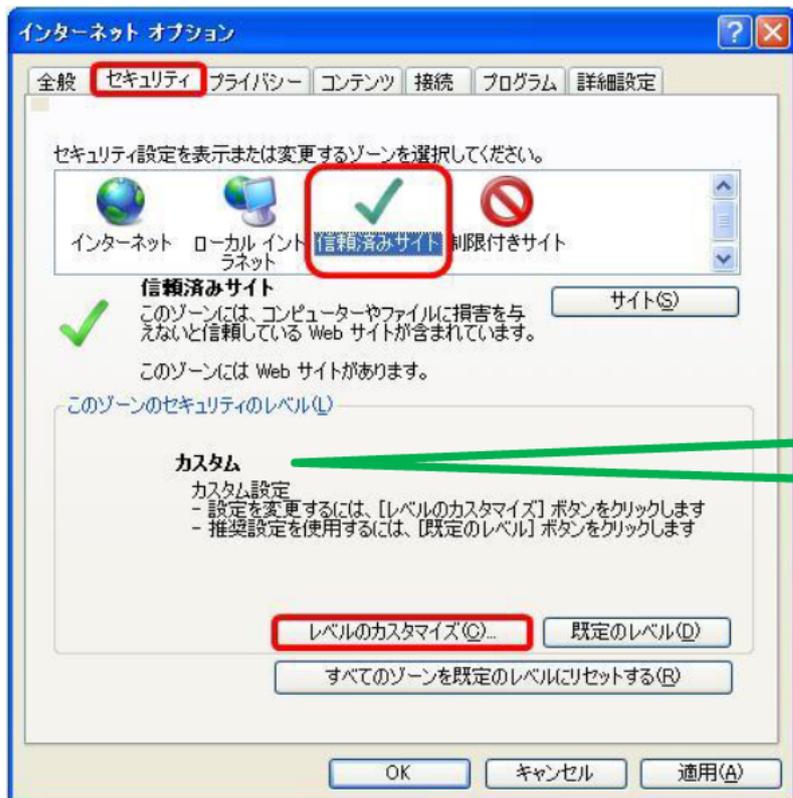
④上記2つのWebサイトを追加した後、【このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする】をチェックし【閉じる】ボタンを左クリックします。



追加したアドレスに「*」が付いて

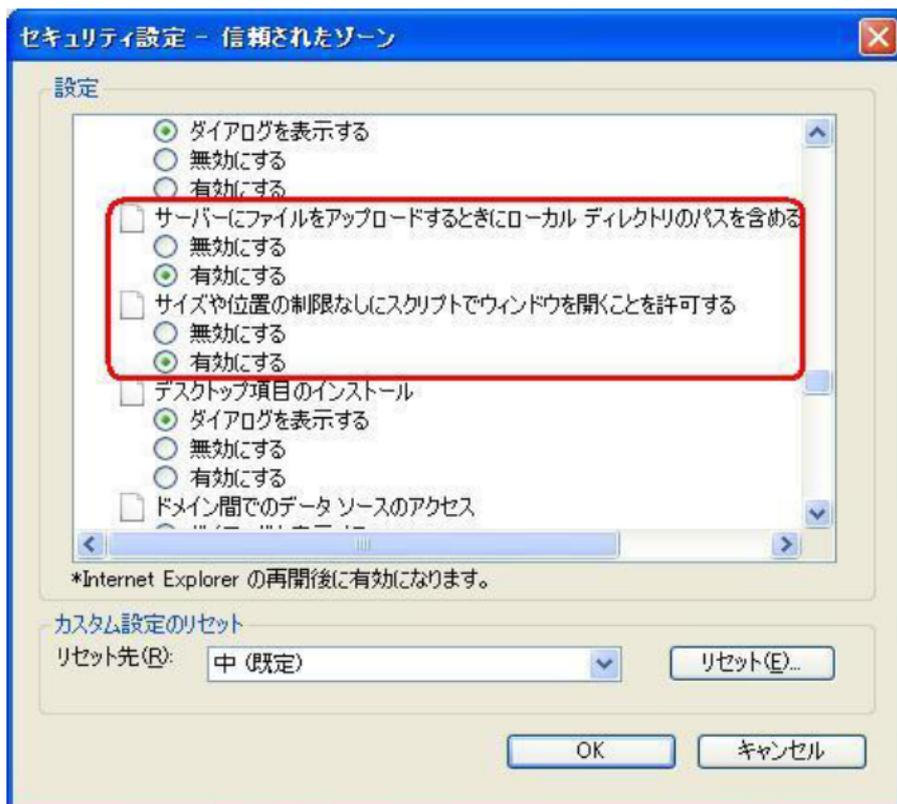
2-3.<セキュリティ>タブの設定(レベルのカスタマイズ) ※確認

①【信頼済みサイト】を選択し【レベルのカスタマイズ】ボタンを左クリックします。

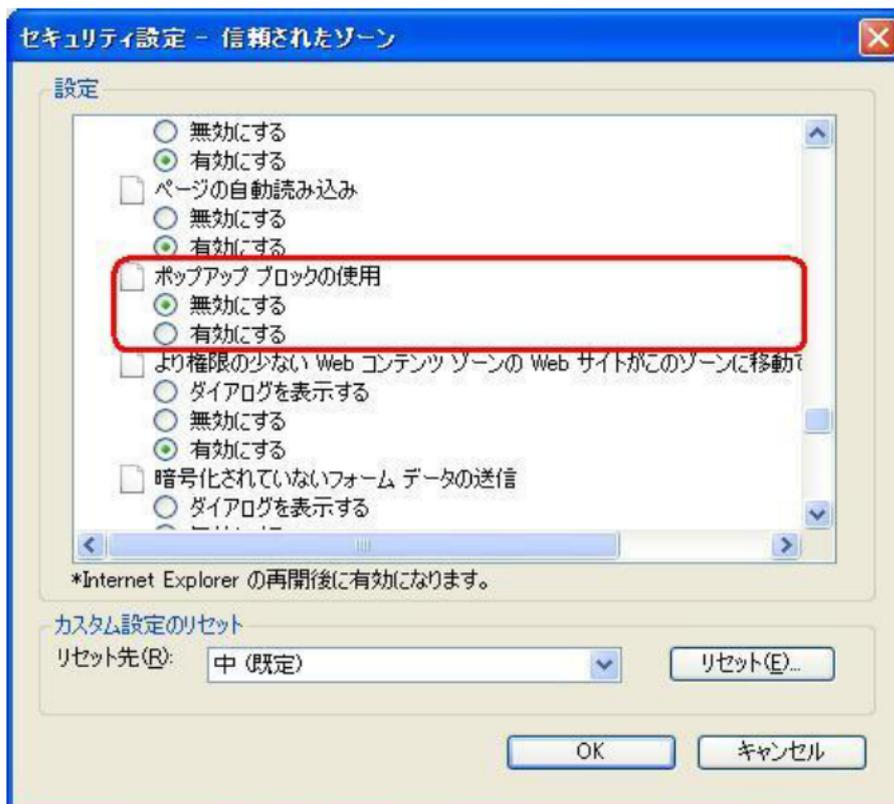


こちらの表記はOS
によって異なります
ので、既定のまま
で

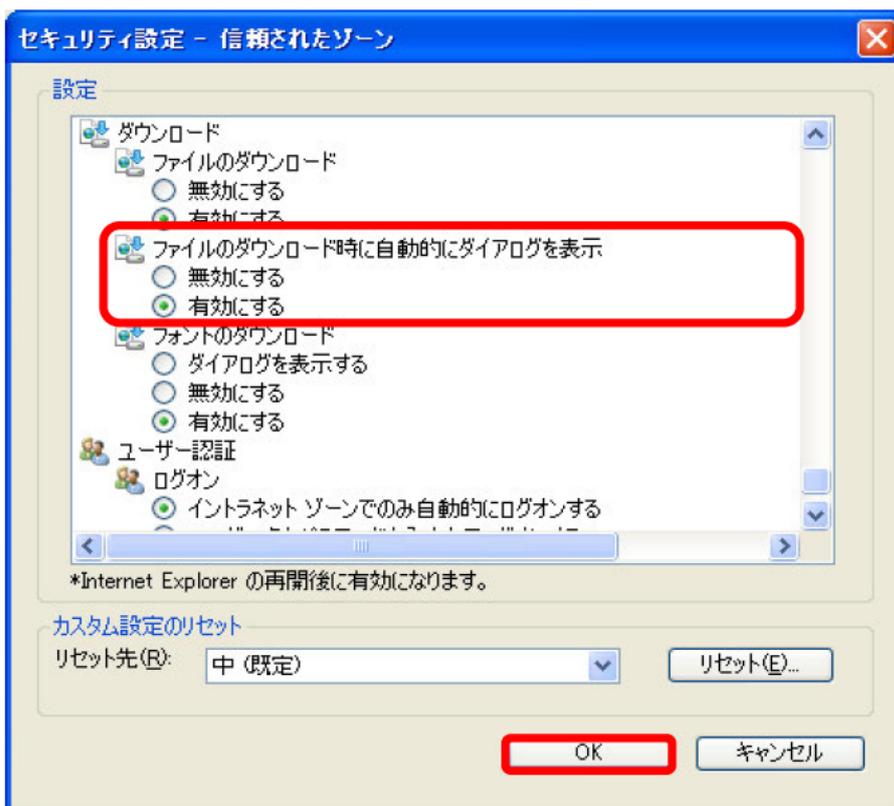
②【サーバーにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める】と【サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する】を【有効にする】にチェックします。



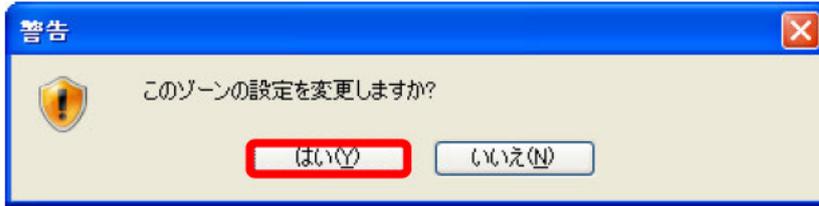
③【ポップアップブロックの使用】を【無効にする】にチェックします。



④【ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示】項目を【有効にする】にチェックし、【OK】を左クリックします。

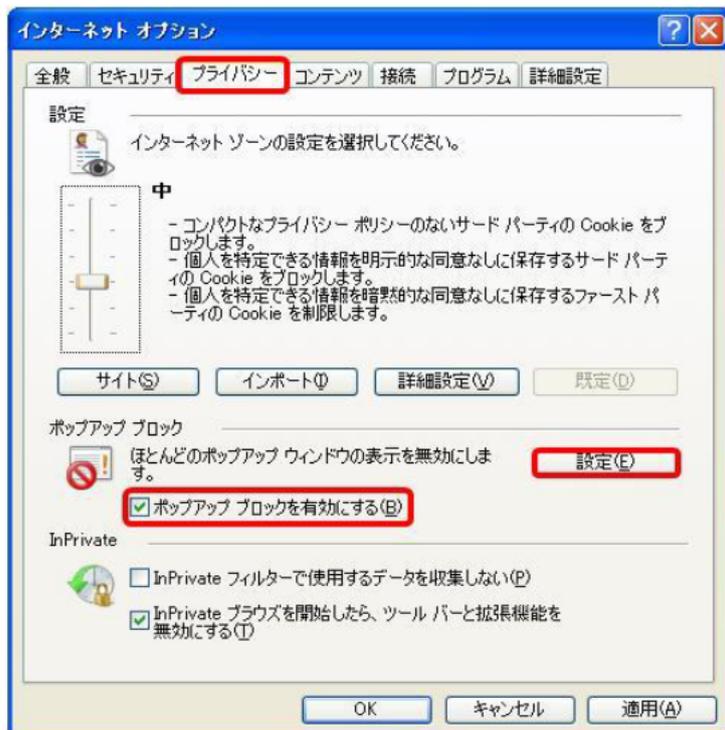


⑤【はい】を左クリックします。



2-4.<プライバシー>タブの設定(ポップアップブロックの設定)

①【ポップアップブロックを有効にする】をチェックし【設定】ボタンを左クリックします。



②「許可するWebサイトのアドレス」に下記のアドレスを入力し【追加】ボタンを左クリックします。Webサイトの追加は1つずつ行います。

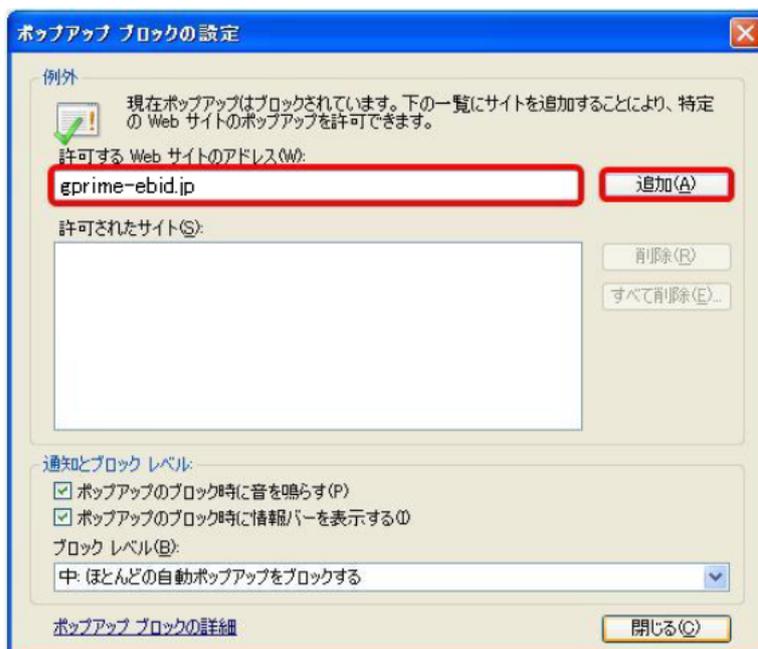
手入力だと間違いやすいので、下記アドレスをコピーして、該当場所に貼り付けて下さい。

<ポップアップを許可するアドレス>

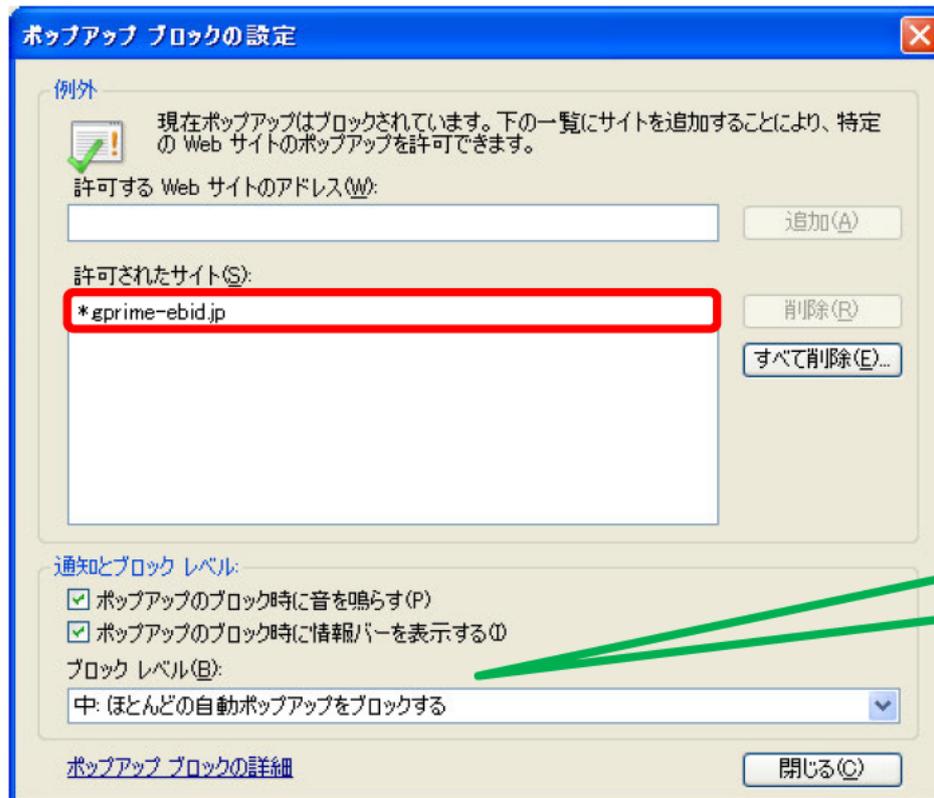
gprime-ebid.jp



設定追加する必要があります。

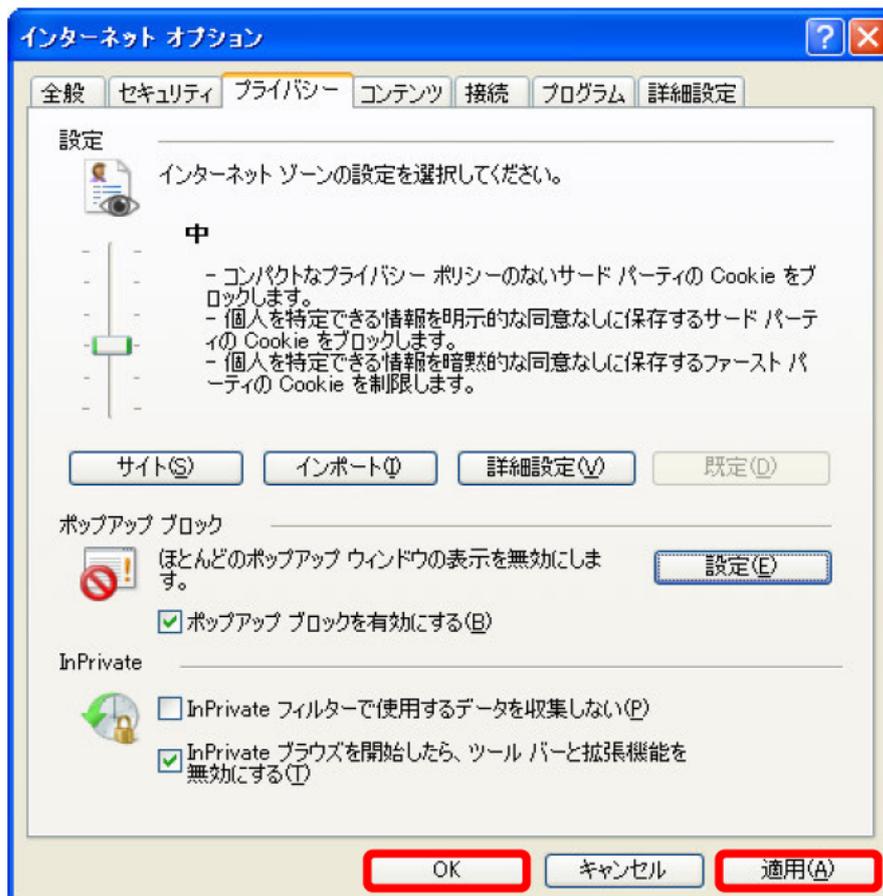


③上記1つのWebサイトを追加した後、【閉じる】ボタンを左クリックします。



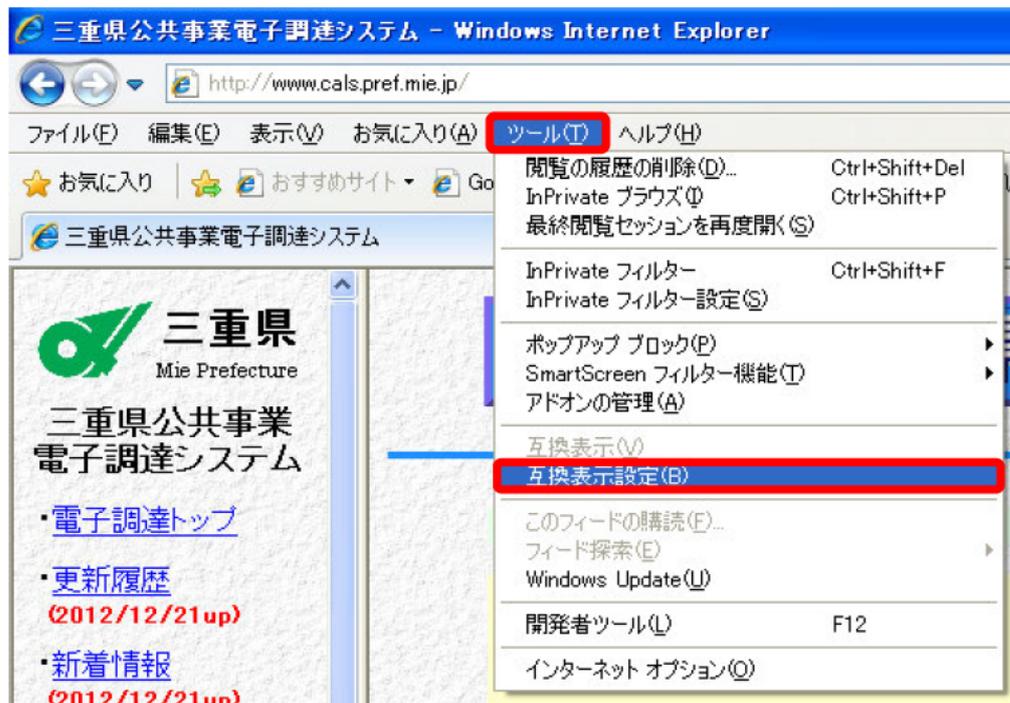
こちらの表記はOS
によって異なります
ので、既定のまま
です

④ここまでの設定が全て完了後、【適用】→【OK】を左クリックしインターネットオプションを閉じます。Internet Explorerを一度終了し、再度Internet Explorerを起動し動作確認を行います。



3. 互換表示の設定

①Internet Explorerを起動し「三重県公共事業電子調達システム」(http://www.cals.pref.mie.jp/)を開き、【ツール】-【互換表示設定】を左クリックします。



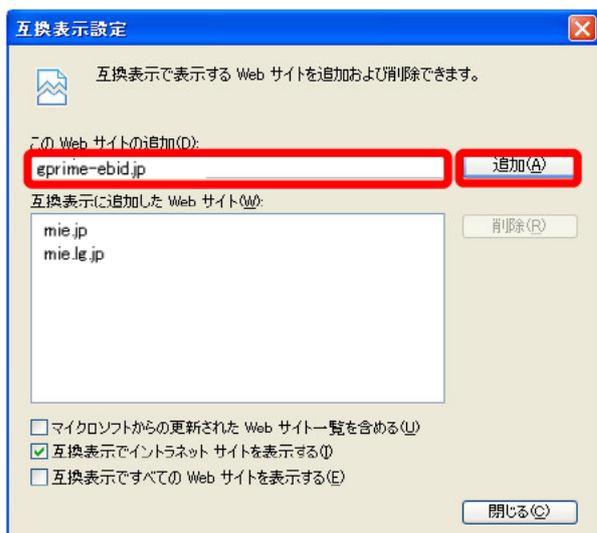
②「追加するWebサイト」に下記のアドレスを入力し【追加】ボタンを左クリックします。Webサイトの追加は1つずつ行います。

手入力だと間違いやすいので、下記アドレスをコピーして、該当場所に貼り付けて下さい。

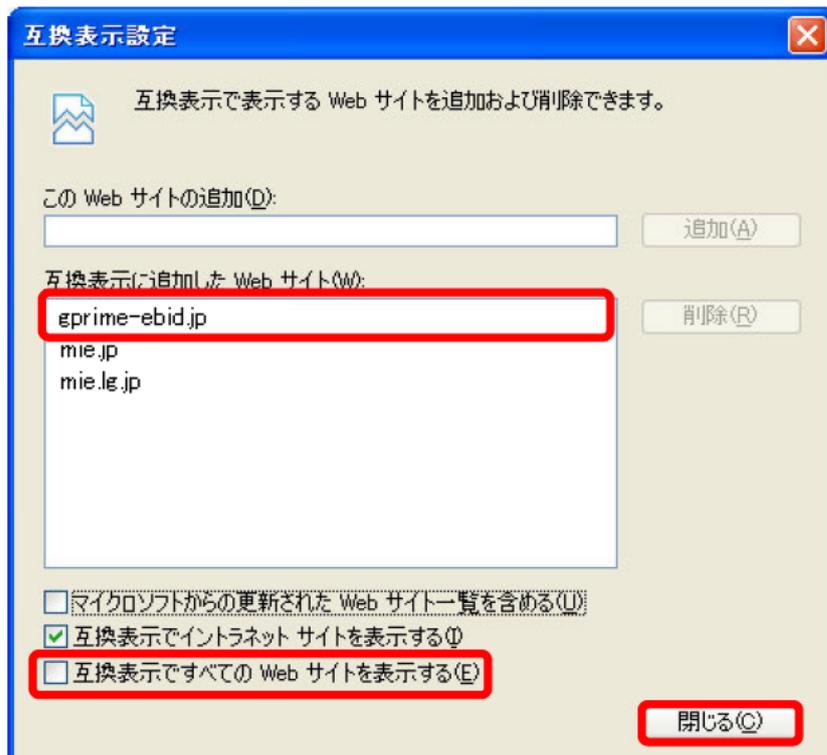
<互換表示に追加するアドレス>

mie.jp
mie.lg.jp
gprime-ebid.jp

設定追加する必要があります。



- ③上記3つのWebサイトを追加した後、【閉じる】ボタンを左クリックします。
※「互換表示ですべてのWebサイトを表示する」にチェックがある場合は外します。



以上でInternet Explorer の設定は終了です。

Internet Explorerを一度終了し、再度Internet Explorerを起動し動作確認を行います。

以上